

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭63-115907

⑤Int.Cl.
F 16 B 13/14識別記号
A-8714-3J

④公開 昭和63年(1988)7月26日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑫考案の名称 スクリューグロメット

⑬実願 昭62-4874

⑭出願 昭62(1987)1月19日

⑮考案者 高田 健二 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社
内⑯考案者 川床 仁 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社
内⑰考案者 三好 正一 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町51番地 加藤発条株式会
社内⑱考案者 岡田 重夫 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町51番地 加藤発条株式会
社内

⑲出願人 日産自動車株式会社 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

⑳出願人 加藤発条株式会社 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町51番地

㉑代理人 弁理士 市橋 俊一郎

㉒実用新案登録請求の範囲

一方が開口する本体と、該本体の開口縁に形成されたフランジとから成り、パネル孔に係着された本体の内部に、螺子部材を差し込む構成のスクリューグロメットにおいて、上記フランジ下面の対向する縁部に、パネル面に当接する姿勢保持用リブを一体に垂設すると共に、該対向するリブ間にシールワッシャーを装着するように構成したことを特徴とするスクリューグロメット。

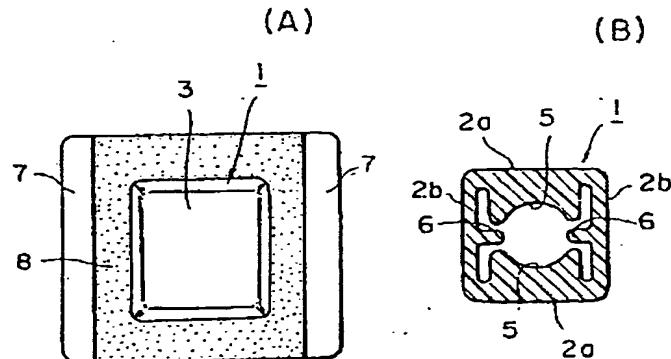
図面の簡単な説明

第1図は本考案の実施例に係るスクリューグロ

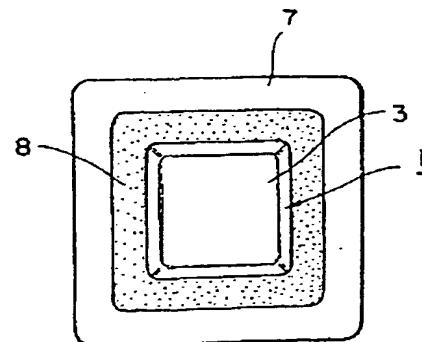
メットを示す全体斜視図、第2図Aは同グロメットの底面図、同図Bはグロメット本体の横断面図、第3図はパネルを重合固定した状態を示す断面図、第4図はグロメットの他例を示す底面図である。

1……本体、2a, 2b……周壁、3……底壁、4……フランジ、7……姿勢保持用リブ、8……シールワッシャー、9……螺子部材、P1, P2……パネル、H1, H2……保止孔。

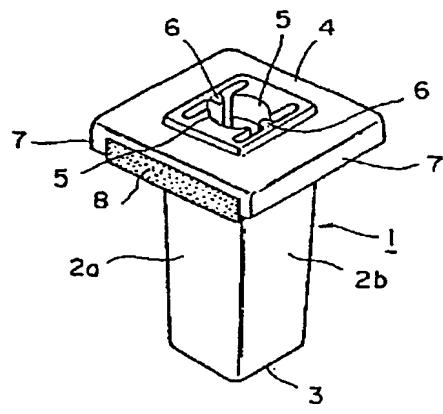
第2図



第4図



第1図



第3図

